

巻 頭 言

千葉大学大学院医学系研究院消化器内科 加藤 順

1. [総論]IBD 診療における治療, モニタリングの新しい選択肢

岡山大学病院炎症性腸疾患センター 平岡佐規子

2. 潰瘍性大腸炎難治例の第一選択

(1) インフリキシマブを推奨する立場から

金沢大学附属病院消化器内科 北村 和哉 他

(2) トファシチニブを推奨する立場から

神戸大学大学院医学研究科内科学講座消化器内科学分野 大井 充 他

(3) ベドリズマブを推奨する立場から

山口大学大学院医学系研究科消化器内科学 橋本 真一 他

(4) ウステキヌマブを推奨する立場から

千葉大学大学院医学研究院消化器内科学/同 医学部附属病院消化器内科 太田 佑樹

3. クロウン病初期治療

(1) 抗 TNF α 抗体から開始する立場から

札幌東徳洲会病院 IBD センター 前本 篤男

(2) ウステキヌマブまたはベドリズマブから開始する立場から

藤田医科大学消化器内科学 I 長坂 光夫

(3) ステロイド+チオプリンで開始する立場から

和歌山県立医科大学内科学第 2 講座 高尾 政輝 他

4. IBD の活動性モニタリング

(1) 便中カルプロテクチンを指標とした診療

四日市羽津医療センター IBD センター 山本 隆行 他

(2) 免疫学的便潜血検査を指標とした診療

岡山大学病院実践地域内視鏡学講座 井口 俊博 他

(3) 新しい血液検査 LRG を指標とした診療

大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学 新崎信一郎 他

5. クロウン病小腸画像検査

(1) 小腸造影検査の実際と有用性

九州大学大学院医学研究院病態機能内科学 梅野 淳嗣 他

(2) バルーン内視鏡検査の実際と有用性

公立甲賀病院消化器内科 辻川 知之 他

(3) カプセル内視鏡検査の実際と有用性

日本医科大学千葉北総病院消化器内科 藤森 俊二 他

(4) MR enterography の実際と有用性

東京医科歯科大学消化器内科 竹中 健人 他